

# にいなめさい 11月23日は「新嘗祭」「祭日」に国旗を掲げてお祝いしましょう

飛鳥時代から行われる「新嘗祭の祭日」が、戦後に名前を変えて「勤労感謝の日」の祝日となりました。

11月23日は皆さまのご近所や全国の神社で行われる「秋まつり」にゆかりのある「新嘗祭の祭日」です。祝日には家庭でも国旗を掲げてお祝いしましょう。

日本人なら知つておきたい  
**「新嘗祭」と「勤労感謝の日」**  
皇居では天皇陛下が「新嘗祭」をなされ、「三権の長」が参列します。

全国各地の神社で秋まつり  
全国の神社の秋まつりでは総代さんを中心に行われています。



栃木県産米「とちぎの星」は悠紀地方産米として、令和元年の大嘗祭（新天皇即位の年の新嘗祭）に献上されました。栃木県内各地区で奉祝田での稲作と祭典を奉仕いたしました。

飛鳥時代から行われる「新嘗祭の祭日」が、戦後に名前を変えて「勤労感謝の日」の祝日となりました。

天皇陛下のお住まいになる皇居では、11月23日になると、毎年「新嘗祭」が行われています。天皇陛下は、総理大臣・国会の両議長・最高裁判所長官の「三権の長」を招き、皇居内の神嘉殿で新嘗祭を行います。

全国各地の神社で行わ

れる「秋まつり」は、「五穀豊穣・地域安寧・家内安全の感謝の気持ち」を地元の「氏神さま」にお伝えする「新嘗祭のこころ」がこめられています。

私たち日本国民は「新嘗祭」という共通の行事を通して、皇室はもちろん、全国の神社や氏子さんとつながりを持ちます。そして、生産や収穫を互いに祝い、感謝し合うのが、「新嘗祭」の祭日の意義でしょう。



神宮大麻全国領布百五十周年記念

神棚に今日も家族の  
ありがとう

全国の神社での「秋まつり」は氏子の皆さんが楽しく賑やかに行われる神社も多くあります。多くの神社では、「総代さん」が中心となり、神社の社殿・境内の清掃や、お供え物や「直会」の準備が行われています。「お米」をわられる品々や、野菜・果物などの食べ物が神社に供えられます。

「新嘗祭」をはじめ、お正月、春まつり、夏まつりなど、それぞれ意味合いがある「おまつり」にも地域の代表者である総代さんは神職と連絡を取り合って行事の中心には各地の神社はもちろんですが、家庭の神棚も主役を担います。鏡餅やしめ縄や門松を設けて、神棚のお掃除をして新たなお神札を迎えることが大切な事です。正式には「天照皇大神宮」として祀られたお神札を神棚の中心にお飾りします。このお神札は「神宮大麻」といい、伊勢神宮から全國の神社を通して配られるお神札です。地方では、年末に神社の神職や総代さんが各戸に出向いてお神札をお届けする習慣があります。お神札は毎年交換することも作法のひ

翌月 12月を迎えて、年末には神棚の清掃をして、年始のお正月の準備が始まる時期ですね。正月行事の中心には各地の神社はもちろんですが、家庭の神棚も主役を担います。鏡餅やしめ縄や門松を設けて、神棚のお掃除をして新たなお神札を迎えることが大切な事です。

伊勢神宮では全国約800万家庭用の「神宮大麻」を一年間かけて準備します。そして、全国の神社を通じて神職や総代さんがお神札をお配りするこの行事は、全国の神社をあげての大仕事でもあるのです。神社や公民館で授かる場合も、家庭で授かる場合も、総代さんへの労いの言葉も添えてあります。多くの方々の協力を得て神社の行事を維持しています。多くの総代さんは神職と連絡を取り合って、御多幸をお祈りください。

# 栃木県神社庁

栃木県神社総代連合会  
栃木県神社氏子青年連合

宇都宮市八幡台14-24  
TEL.028(625)2011  
FAX.028(624)3217

栃木県神社庁

検索

11月23日は皆さまのご近所や全国の神社で行われる「秋まつり」にゆかりのある「新嘗祭の祭日」です。そして、国民の祝日「勤労感謝の日」でもあります。祝日には家庭でも国旗を掲げてお祝いしましょう。